平成２６年度進行管理・評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画（平成２４年３月５日認定）
（最終変更平成２５年３月２９日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1－1）
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1－2）
1 宇治市風致地区条例の制定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2 景観形成助成制度の啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1－3）
1 宇治上神社拝殿ほか屋根葺替修理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2 史跡整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3 重要文化的景観保存事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4 歩道整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
5 歩行空間整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
6 建物修景助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
7 屋外広告物助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
8 宇治茶園支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
9 宇治茶品質向上事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
10 宇治茶普及啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
11 市営茶室対鳳庵活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
12 宇治川鵜飼助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
13 宇治十帖スタンプラリー開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
14 京都･宇治灯り絵巻の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
15 文化財見学会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
16 歴史･文化啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
17 文化的景観整備計画策定調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
18 観光交通対策検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1－4）
1 文化財の修理（整備を含む） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
2 文化財の周辺環境の保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3 文化財の防災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
4 文化財の保全及び活用の普及･啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
5 埋蔵文化財の取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
6 文化財の保存･活用に係る体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
7 文化財の保存･活用に関わる住民･NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備 ・・・・・・ 28

⑤効果･影響等に関する報道（様式1－5）
1 引きずる大幣、馬疾駆ほか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
2 踏破者1万7176人　宇治十帖スタンプラリー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
3 宇治茶条例　可決ほか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
4 上林家の長屋門　面目一新 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	計画の進捗管理や計画の変更･追加について、関係課で組織する「歴史まちづくり推進調整会議」を開催し庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される、宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、歴史的風致維持向上に資する事業の充実や計画の進行管理･評価などについて、意見を聞くことができた。「宇治市歴史的風致維持向上協議会」の開催に先立ち、「宇治市歴史まちづくり推進調整会議」を開催し、行政各部局間の横断的な連絡調整を行った。

【定量的評価】
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数　：　3回
宇治市歴史まちづくり推進調整会議の開催回数　：　3回

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

宇治市歴史的風致維持向上協議会･歴史まちづくり推進調整会議の開催状況

実施期間	種別	検討事項等
平成26年5月23日	第1回 歴史まちづくり推進調整会議	【内　容】 1　歴史的風致維持向上計画の変更について 2　歴史的風致維持向上計画の進捗評価について 3　歴史的風致の維持向上に資する事業の充実について
平成26年6月2日	第1回 歴史的風致維持向上協議会	
平成26年8月5日	第2回 歴史まちづくり推進調整会議	【内　容】 1　前回協議会の議事内容について 2　歴史的風致維持向上計画に追加する事業メニューの抽出について 3　パブリックコメントの進め方について
平成26年9月12日	第2回 歴史的風致維持向上協議会	
平成27年1月27日	第3回 歴史まちづくり推進調整会議	【内容】 1　（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園整備とその周辺のまちづくりについての市民意見の結果について 2　歴史的風致維持向上計画の変更（案）について 3　歴史的風致維持向上計画の進行管理･評価について
平成27年2月9日	第3回 歴史的風致維持向上協議会	

宇治市歴史的風致維持向上協議会開催の様子

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
宇治市風致地区条例の制定	■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容	本計画の重点区域の市街化区域には高度地区や風致地区が指定され、建築物の高さの制限が行われており、今後も引き続き良好な市街地環境の保全を図っていく。

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

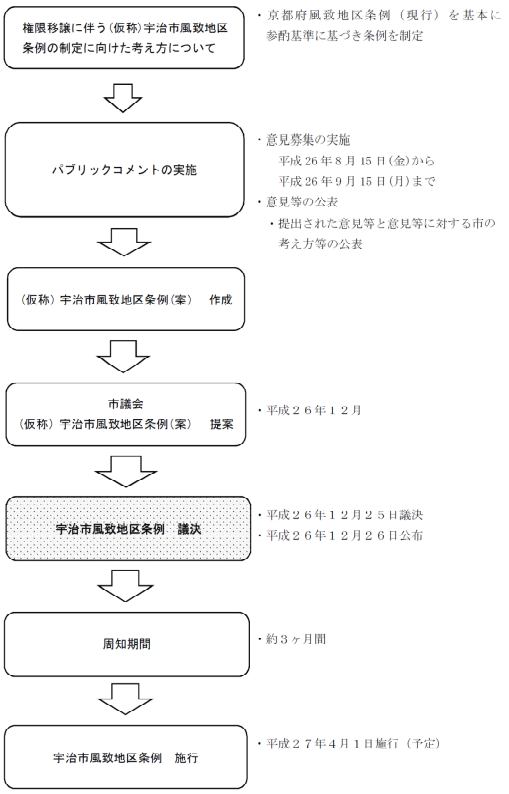
地域主権改革一括法の施行により、都市計画法に定める政令の一部が改正され、風致地区内における建築等の規制に係る条例を制定する権限等が京都府より移譲されることから「宇治市風致地区条例」を制定した。

「宇治市風致地区条例」は、現行の「京都府風致地区条例」を基本とし、国から示されている「風致政令」や「標準条例」といった参酌基準に基づき制定した。ただし、許可事務を効率的に行うために必要な条文（事務の簡素化を図るための条文や行為完了後の確認を行うための条文など）を追加し、本市において該当しない内容（海岸法等に関連する条文など）は、条文化しないこととした。

平成26年12月議会で議決を受け、平成26年12月26日に条例を公布、平成27年4月1日の施行とした。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	風致条例の特別風致地区の範囲は、世界遺産におけるバッファゾーンとしても位置付けられているが、バッファゾーン周辺の宅地開発等を規制を強化するためには更なる法規制の検討が必要。

状況を示す写真や資料等



宇治市風致地区条例施行までの流れ

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
景観形成助成制度の啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

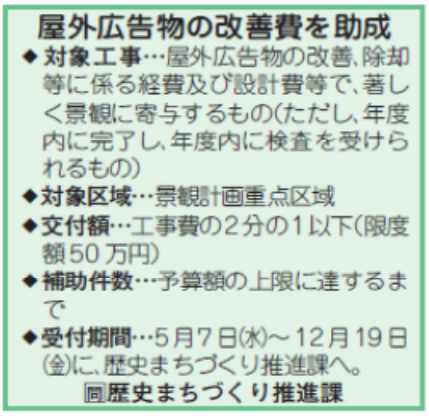
計画に記載している内容	「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、8つに区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

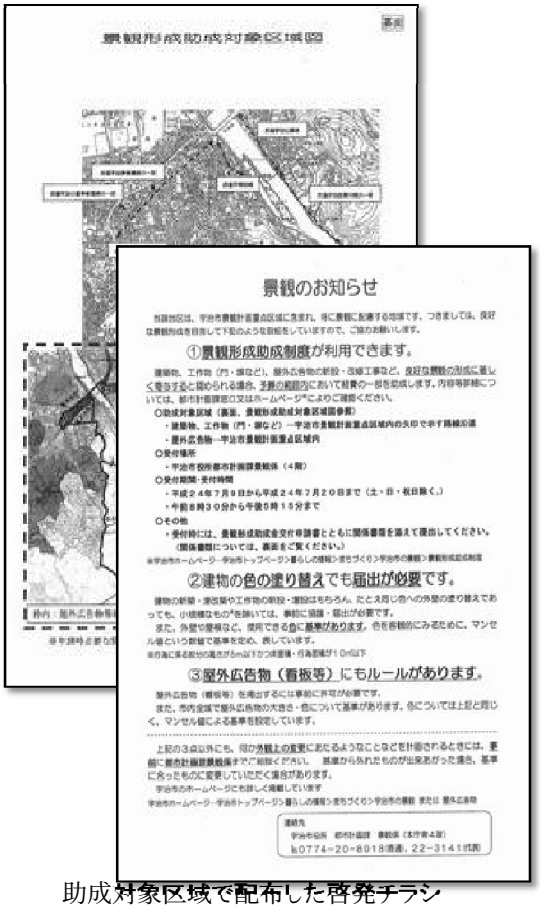
本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において景観形成助成制度の啓発チラシにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市政だよりによる記事



助成対象区域で配布した啓発チラシ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
宇治上神社拝殿ほか屋根葺替修理事業	■実施済 □実施中 □未着手

事業期間	平成24年度　～　平成26年度
支援事業名	重要文化財（建造物・美術工芸品）修理、防災事業
計画に記載している内容	文化財としての価値の継承が図られる修理事業により、来訪者に宇治川東岸の歴史的景観をより魅力的に伝達できるとともに、地域住民による伝統的祭礼の継承への意欲を高める。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

国宝宇治上神社本殿及び国宝宇治上神社拝殿が、前回の檜皮葺屋根の修復事業から約30年が経過し屋根に損傷がみられることから、昨年に引き続き保存修理事業を実施した。最終年度の平成26年度には、宇治上神社本殿の修理を行った。宇治上神社本殿は、平成26年1月から檜皮葺屋根の修理に着手し、平成26年12月に屋根葺替工事が終了した。また重要文化財本殿扉絵の修理は、平成26年5月から開始し、11月に完了した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

本殿修理の状況

本殿修理後

修理した本殿扉絵の搬入

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
史跡整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２５年度～平成３１年度
支援事業名	地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業
計画に記載している内容	壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史･文化の総合的理解を促す。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

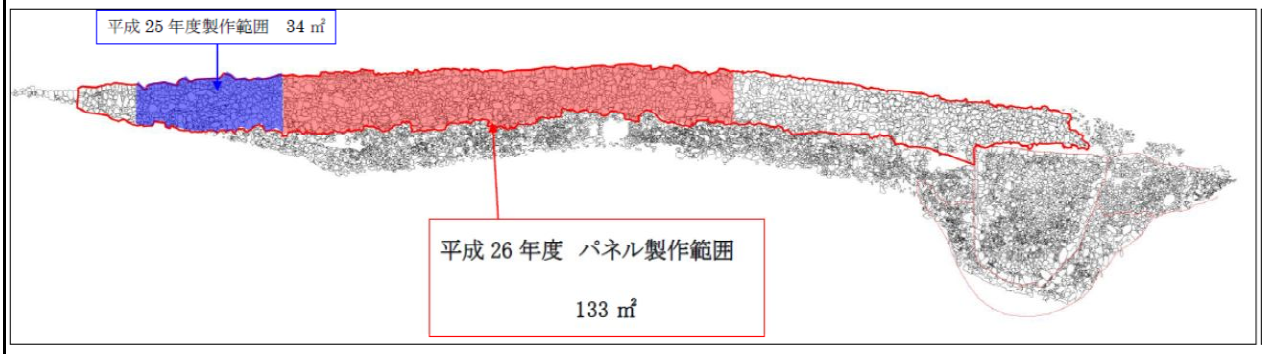
史跡整備事業は、機能時と埋没時の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした役割と歴史の重層性を表現することとしている。今年度は、機能時の様子を再現するゾーンの部分的な遺構再現整備と、史跡指定地内の遺構の残存状況を確認するための発掘調査を実施した。

遺構の再現整備では、太閤堤の石張り部はＧＲＣパネルによる再現、石積み部は遺構と同種の石による再現とし、平成２６年度はＧＲＣパネル（１３３㎡分）を製作している。

また、宇治川太閤堤跡史跡指定地の未調査部分の発掘調査として、埋没時の宇治川太閤堤を再現するＢゾーンで、遺構の残存状況を確認する調査を実施した。調査では、太閤堤を埋めた砂州を利用して茶畑が営まれていたことを確認し、現地説明会を開催した。現地説明会には約１００名の参加があり、市民や来訪者に本市の歴史･文化の理解を促すことができた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



ＧＲＣパネル製作範囲

石積み護岸の石張り部を再現したＧＲＣパネル

発掘調査の現地説明会の様子

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
重要文化的景観保存事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素である「中村藤吉本店」、「旧菊屋萬碧楼建物」、「上林春松家長屋門」の修理を実施した。

【定量的評価】
景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数：3件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

上林春松家長屋門の修理完了状況

上林春松家長屋門の修理状況

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
歩道整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

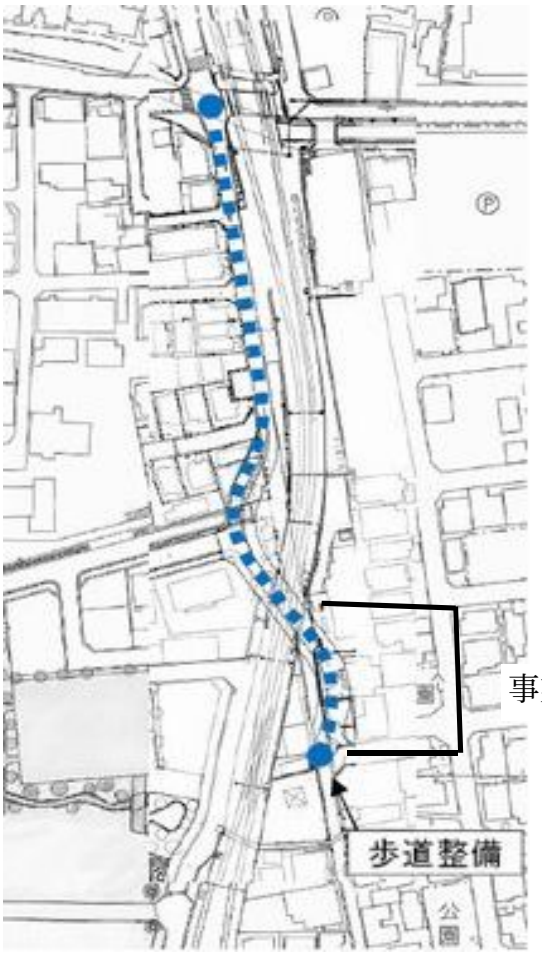
事業期間	平成21年度～平成31年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史･文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

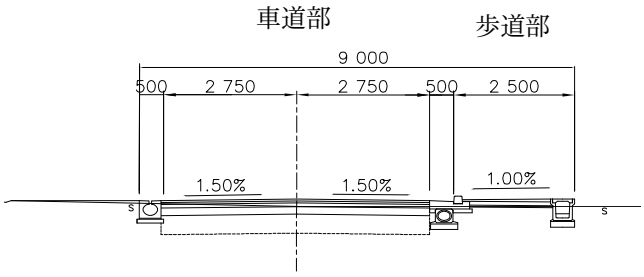
市道宇治五ヶ庄線の道路拡幅に伴う用地取得の交渉を実施した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



事業の進捗状況



踏切部整備断面図

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
歩行空間整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２４年度～平成３０年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史･文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩道空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

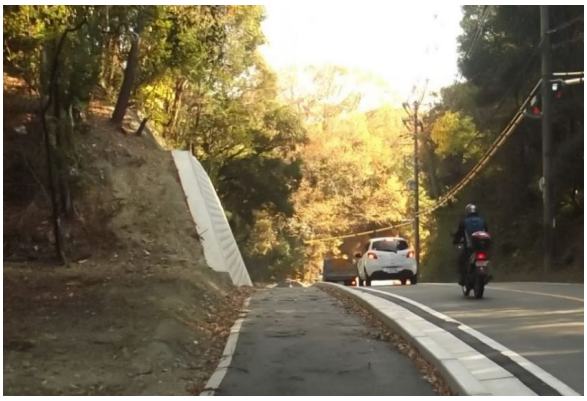
市道宇治白川線の歩道整備事業を実施した。事業の実施により、太陽が丘総合公園入口付近からの歩行者ネットワークの延長を図ることができた。

本事業は、保安林を活用し拡幅整備を行う事業であったことから、伐採する保安林の面積を最小とするため、擁壁工法を選定し、保安林の保全に最大限配慮した整備を実施した。

【定量的評価】
整備延長　Ｈ２４　Ｌ＝５０ｍ
　　Ｈ２５　Ｌ＝１０５ｍ
　　Ｈ２６　Ｌ＝８７ｍ

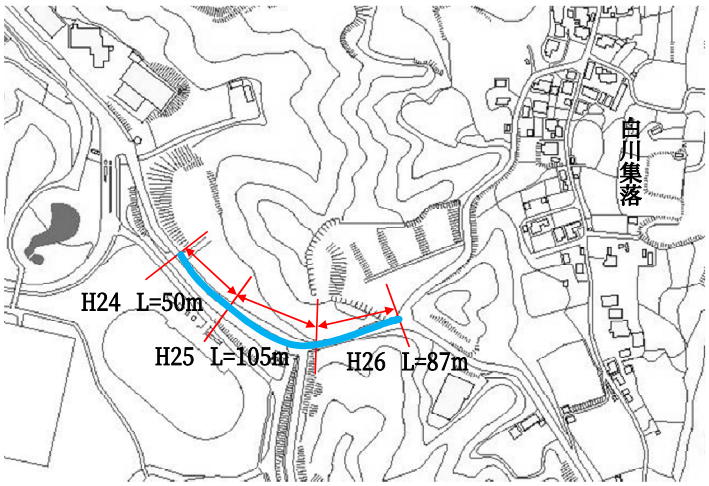
進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後、道路等を整備する際には、景観へ配慮した工法選定が求められる。

状況を示す写真や資料等



施工後

施工前



施工箇所

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
建物修景助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２２年度 ～
支援事業名	市単独事業費
計画に記載している内容	歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設（道路）の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建物について、修景助成を行うこととしており、平成２６年度は申請は2件のみである。

【定量的評価】
景観形成助成の件数　：　3件　（建築物　1件、工作物1件、その他（設計費）　1件）
（参考）２５年度　　：　6件　（建築物　3件、工作物2件、その他（設備機器の目隠し）　1件）

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

修景前

修景後

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
屋外広告物助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２２年度 ～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしており、平成２６年度は2件の申請があった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

実施前

実施後

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
宇治茶園支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	減少傾向にある宇治市域の茶園の維持･拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】
伝統技術継承対策事業の実施件数　：　19件（409．5a）
手摘み茶推進対策の実施件数　　：　34件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統技術継承対策事業により支援が行われた
「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

手摘み茶推進対策事業により実施された
「お茶摘みさん」を募集するチラシ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
宇治茶品質向上事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２３年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	品質向上への意欲増進や栽培･生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。

定性的･定量的評価（自由記述）　※定量的評価は可能な範囲で

６月１２日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、８月６日から滋賀県で開催された関西茶品評会、８月２６日から宮崎県で開催された全国茶品評会に約１００点以上の出品の支援を実施した。
全国茶品評会では「てん茶」部門において宇治の茶農家が農林水産大臣賞を受賞した。「てん茶」の産地賞を宇治市が受賞した。全国では平成１７年から本年まで１０年連続受賞の結果を残すことができた。
茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的茶製法の継承につながった。

【定量的評価】
茶品評会出品数／入賞数　：　１１３点／３９受賞

進捗状況　※計画年次との対応	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

全国茶品評会

宇治市茶品評会

品評会の実施状況

	第６８回全国茶品評会	第６７回関西茶品評会	第４７回宇治市茶品評会
出品数	36	41	36
優等数			2
1等賞	3	1	3
2等賞	7	7	2
3等賞	6	4	4
農林水産大臣賞	受賞	-	
産地賞	受賞	-	

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
宇治茶普及啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

5月11日に開催した「市民茶摘みのつどい」の開催や、10月5日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】
市民茶摘みのつどいの参加者数：　約400人
宇治茶まつりの参加者数　　：　約18，000人
市民素人茶香服大会の参加者数：　約70人

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

市民茶摘みのつどいの開催状況

宇治茶まつりの開催状況

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
市営茶室対鳳庵活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

本格的数奇屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家･裏千家･山荘流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、端芳菴流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。

なお、平成26年4月より従来の抹茶の薄茶、煎茶のみのメニューから濃茶と薄茶、玉露と煎茶のセットメニュー及びお点前体験のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

【定量的評価】
市営茶室でお茶席の利用者数　：　22，335人
（参考）25年度　：　14，259人

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門

本席（三畳向切）において抹茶点前で喫茶の様子

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－１２
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
宇治川鵜飼助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２３年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

鵜飼事業の実施に支援し、6月１５日（日）から9月２１日（日）までの出船期間中に乗り合い船、ツアー団体、貸しきり船などで約6，９７０人の乗船があった。宇治川の夏の風物詩として歴史的風致の維持向上に寄与した。

【定量的評価】
鵜飼船乗船者数：約6，９７０人（増水･台風のため２３日間の臨時休業があり、７６日間の営業実施であった。）
（参考）２５年度　：約6，７００人（増水･台風のため１８日間の臨時休業があり、８３日間の営業実施であった。）

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

宇治川鵜飼の実施状況①

宇治川鵜飼の実施状況②

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
宇治十帖スタンプラリー開催	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを5日間（10月25日･26日･11月1日･2日･3日）開催し、宇治の歴史的風致に触れる機会が創出された。
昨年同様、宇治市宣伝大使「ちはや姫」とご当地キャラクター「チャチャ王国のおうじちゃま」が参加するポイントを設け、新たに、臨時ポイントとして京都大学宇治キャンパスにポイントを設け事業を盛り上げた。平等院鳳凰堂の落慶も重なり、昨年の踏破者数を578名上回る結果となった。
スタンプラリー特別ポイントとしていた「史跡宇治川太閤堤跡」には、5日間でのべ900名の参加者が訪れた。石積み護岸の傍にポイントを設け、参加者への説明を随時行い、これからの公園整備への理解を広めることができた。

【定量的評価】
スタンプラリー参加者数：17，176人

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

スタンプラリーのスタンプ帳

スタンプラリー実施の様子

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
京都･宇治灯り絵巻の開催	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

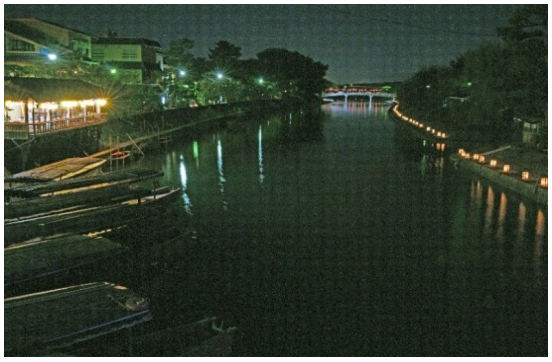
宇治上神社の改修事業等にともない、当初想定していた観光客の来訪が十分に見込めないことから、今年度の「京都･宇治灯り絵巻」事業は休止した。

しかし、統一的な事業は休止しているものの、宇治川鵜飼、三室戸寺のライトアップや宇治市観光協会の会員13店舗等により、行燈の掲出･点灯をしたことで、計画に記載している「夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。」という一定の効果が発現した。

	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	次年度は、周辺有名寺社の改修事業が完了するため再開する方向で検討する。

状況を示す写真や資料等

三室戸寺のライトアップ



宇治川鵜飼のライトアップ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－１５
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
文化財見学会	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２３年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	小学生を対象にした文化財の普及･啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

･春の庵寺山古墳の一般公開　平成２６年5月１０日（土）　１０時～１５時　約８０人
･「史跡宇治川太閤堤跡」
　範囲確認調査現地説明会　平成２６年9月１３日（土）　１３時～１５時　約１００人
･秋の庵寺山古墳の一般公開　平成２６年１１月８日（土）　１０時～１５時　約８０人
･第２４回小中学生の文化財見学会　平成２６年１２月１３日（土）　１３時３０分～１５時　３０人

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

史跡宇治川太閤堤跡範囲確認調査

第24回　小中学生の文化財見学会の様子
（平等院で説明を聞いているところ）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
歴史･文化啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	多くの市民を対象にした歴史･文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

歴史･文化啓発事業として、宇治の歴史を学ぶ公民館事業である「宇治の形」の講座、ボランティアガイドクラブへの出前講座、文化的景観フォーラムを開催した。また史跡宇治川太閤堤跡保存整備フォーラムの冒頭で小中学生の文化財見学会に参加した方の感想文コンクール表彰式を行った。
【定量的評価】
宇治の形：1回、23人
ボランティアガイドクラブへの出前講座：1回、30人
文化的景観フォーラム：2回、50人
史跡宇治川太閤堤跡保存整備フォーラム：1回、180人

	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

公民館事業「宇治の形」

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
文化的景観整備計画策定調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	～　平成27年度
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	地域の自然･歴史･社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化的景観の保全に関しては、現在の景観が出来上がってきた土地利用過程の調査を古記録から分析を進めるとともに、過年度に行った選定地区に現存する300棟の伝統的木造建築の実態調査の原稿を取りまとめた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	宇治の文化的景観の選定区域は、白川地区･黄檗地区の区域拡大を予定しており、区域拡大に向けた調査を併せて実施することから、本整備計画の策定スケジュールを見直す。

状況を示す写真や資料等

文化的景観整備について協議の様子

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
観光交通対策検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車の来訪者への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。

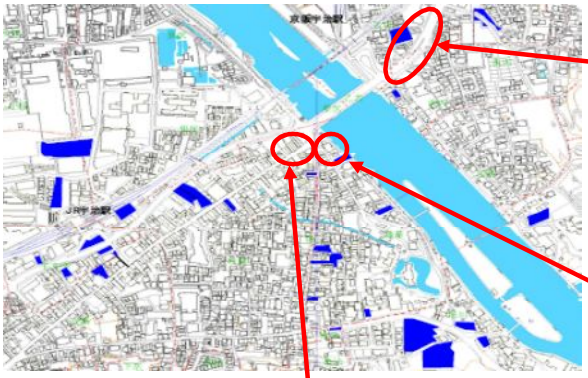
定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

観光シーズンの道路や駐車場の混雑状況を把握するため、ゴールデンウィークにおける交通渋滞や駐車場の利用状況について現地確認を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

駐車場の配置状況(青着色部分)



宇治橋東詰め付近の状況

平等院通りの状況

宇治橋通りの状況

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
文化財の修理（整備を含む）	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	（1）国宝・重要文化財建造物 宇治上神社本殿・拝殿（国宝）は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。 （3）重要文化的景観 重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例を活用した、文化的景観保存活用事業を進めるものとする。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

（1）国宝・重要文化財建造物
今年度は、引き続き国宝宇治上神社本殿の檜皮葺屋根の修理を実施した。また重要文化財本殿扉絵の剥落止め等の修理を行った。
（3）重要文化的景観
景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数：3件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

宇治上神社　本殿の修理状況

文化的景観（上林家住宅）

◆宇治上神社改修履歴

	修理内容	時期
宇治上神社本殿	解体	明治43年
	屋根	昭和18年
	屋根・部屋	昭和56年
	屋根	平成25・26年度
宇治上神社拝殿	解体	明治41年
	屋根	昭和18年
	屋根	昭和51・52年
	屋根	平成24・25年度
宇治上神社摂社春日神社本殿	屋根	昭和18年
	災害	昭和25年
	災害部屋	昭和36年
	屋根	昭和56年
	部屋	昭和61年
	屋根	平成21年度

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
文化財の周辺環境の保全	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	重点区域の大部分は「宇治市景観計画」の重点区域となっており、建築物の高さや色、看板や屋外広告物等への規制など、景観保全に関する指導を行うとともに、修景助成制度を活用して良好な景観形成に資する改修事例が増えるよう誘導する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の「景観重要建造物」や、景観重要公共施設の沿道の「建築物･工作物」への景観形成助成や「屋外広告物」の助成事業を実施している。平成21年度に「宇治市景観形成助成交付要項」「宇治市景観形成助成金景観助成基準」を定め制度の充実を図り、平成22年度から景観形成助成制度を開始し、平成26年度に2件の景観形成助成事業を実施した。

【定量的評価】
景観形成助成の件数　：　3件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

実施前

実施後

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
文化財の防災	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	平成20年に発足した「宇治市文化財まもり隊」の活動は、文化財に対する保護意識高揚と地域の自主防災活動を促し、火災予防の徹底と災害が発生した場合の被害軽減を図っている。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化財まもり隊は、自主消防隊を持つ平等院と、2年前に指定された恵心院以外の指定建造物に対して結成されている。今年度の文化財防火デーに行われた平成26年度の文化財防火研究会は萬福寺で行われ、防火訓練では大和田まもり隊と自主消防隊が参加し共同で実施した。また文化財防火デー以外の日においても、白山神社まもり隊による防火訓練が行われた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財まもり隊と自主消防隊でのバケツリレー

文化財の搬出

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
文化財の保全及び活用の普及･啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化財保護の普及啓発を図るため、次の事業を実施した。
･春の庵寺山古墳の一般公開　平成26年5月10日（土）10:00～15:00　約80人の来場者あり
･【宇治川太閤堤跡】
　範囲確認調査現地説明会　平成26年9月13日（土）13:00～15:00　約100人の見学者あり
･秋の庵寺山古墳の一般公開　平成26年11月8日（土）10:00～15:00　約80人の来場者あり
･第24回小中学生の文化財見学会　平成26年12月13日（土）13:30～15:00　30人の参加者あり

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財見学会の様子

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－5
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
埋蔵文化財の取扱い	□実施済 ■実施中 □未着手

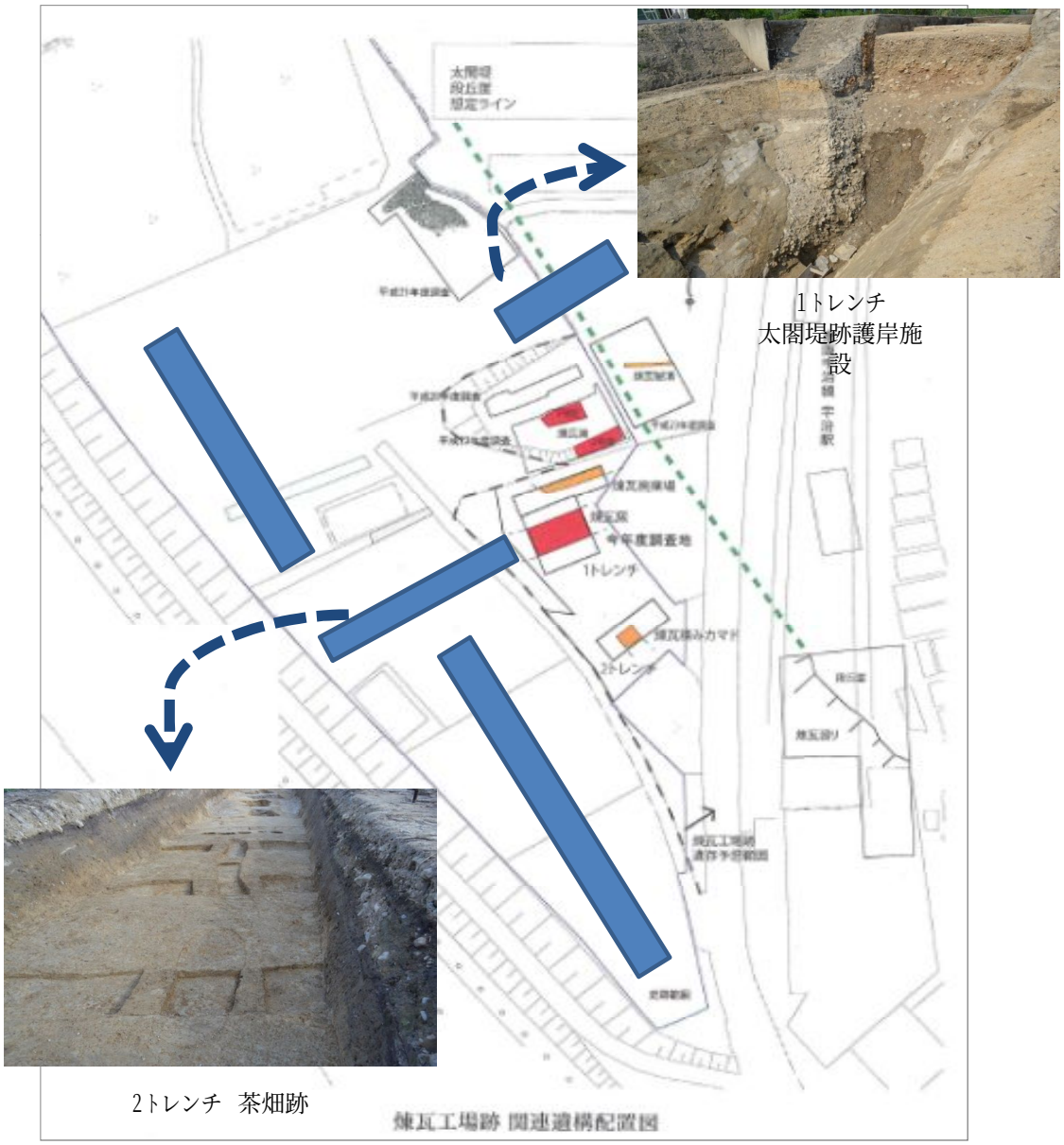
計画に記載している内容	重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

史跡宇治川太閤堤跡は史跡地南半部の護岸施設の位置が確認できていなかったため発掘調査を実施して護岸施設の位置を確認し、新たに保護が必要となる範囲を確定した。また史跡地一帯は、弥生中期から古墳後期の集落跡である「乙方遺跡」の埋蔵文化財包蔵地であるとともに、江戸期の瓦窯跡や、明治期の煉瓦窯跡など、史跡の本質的価値を構成する枢要な要素以外のものが包蔵されていることから、史跡保存管理計画書に基づき、現在未調査部分の宇治川太閤堤跡の「遺跡」や「基盤となる地形」等の史跡の本質的価値を構成する枢要な要素を調査するため、上層に包蔵されてい遺跡の有無を確認する調査を実施、史跡調査に必要な記録をとることができた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－6
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成２６年度
項目	現在の状況
文化財の保存･活用に係る体制	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	本市は平成21年4月に機構改革を行い、新たに都市整備部歴史まちづくり推進課を新設した。文化財に関する業務は、教育委員会の事務を文化財保護係の職員が補助執行することとし、従来から引き続き発掘業務や文化財保護の業務を行っている。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

平成26年4月に機構改革を行い、これまでの文化財保護係、拠点整備係の2係体制から、都市計画課の景観係を編入し、3係体制となった。また、文化財保護係は1名増員し、正規職員4名、非常勤嘱託職員4名の計8名となり、拠点整備係は1名増員し、正規職員4名、非常勤嘱託職員1名の計5名となった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくり推進課

課長　1

拠点整備係

係長　1
係員　3
非常勤職員　1

文化財保護係

主幹兼係長　1
係員　3
非常勤職員　4

景観係

主幹兼係長　1
係員　3
非常勤職員　1
臨時職員　1

平成26年度歴史まちづくり推進課体制図

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－7
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況
文化財の保存･活用に関わる住民･NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持･拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上･普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。
また、10月5日に宇治川川畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】
伝統技術継承対策支援事業の実施件数　：　19件（409．5ａ）
手摘み茶推進対策の実施件数　　：　34件
宇治茶まつりの参加者数　　：　18，000人
市民素人茶香服大会の参加者数：　70人

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた
「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	平成２６年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
引きずる大幣、馬疾駆	平成26年6月10日	城南新報
県神社で大幣神事　悪疫退散を願い伝統行事	平成26年6月10日	洛南タイムス

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。
「宇治に伝わる祭礼」の歴史的風致として、市の無形文化財第1号であり伝統的な行事である「大幣神事」が報道された。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

児童も汗かき参列

引きずる大幣、馬疾駆

県神社 中宇治で伝統ある神事

洛南タイムス

県神社で大幣神事

悪疫退散を願い伝統行事

宇治市の第1号無形文化財

病魔封じ、宇治川へ投げ入れ

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	平成26年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
踏破者1万7176人　宇治十帖スタンプラリー	平成26年11月5日	洛南タイムス

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。
現代版の「遊覧と参詣」ともいえる「宇治十帖スタンプラリー」に市民や観光客が多数参加したことについて報道された。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

踏破者　1万7176人

宇治十帖スタンプラリー

洛南 11/5

5日間の日程が終了

◆…源氏物語のまちをめぐる「宇治十帖スタンプラリー」が3日、最終日を迎え、多くの人が秋の宇治を楽しみながら歩いた。市によると、期間中5日間の踏破者は1万7176人に達した。

◆…紫式部文学賞などを含む「源氏物語ろまん2014」事業の一環で、市と教委、文学賞イベント実行委員会、市観光協会の主催で毎年開催している。24回目の今年は先月25日、26日、1日、2日、3日の5日間実施した。

◆…連休の始めの2日間は不安定な天候となり、寒さも感じられたが、最終日の3日はさわやかな秋晴れとなった。参加者は約4・5㌔の「基本」と約13・5㌔の「健脚」のいずれかのコースを選択。家族や友人同士などと一緒に各ポイントをめぐり、スタンプを押すと満足そうな笑顔を見せていた。

◆…市のまとめによると、日にちごとの踏破者は▽25日＝3590人▽26日＝3798人▽1日＝1398人▽2日＝3708人▽3日＝4682人。5日間の合計1万7176人（基本コース＝1万3056人、健脚コース＝4120人）は、昨年より578人多かった。

【本好治央】

【写真はポイントでスタンプを押す子ども（京阪宇治駅前）】

進捗評価シート		（様式1-5）
評価軸⑤-3 効果･影響等に関する報道		
	評価対象年度	平成26年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
宇治茶条例　可決	平成26年10月16日	洛南タイムス
「宇治茶条例」原案で成立	平成26年10月16日	城南新報

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

「宇治茶の普及」や「おもてなしの心の醸成」により先人たちが築きあげてきた宇治茶の伝統、産業を守り、国内外に情報発信することにより、本市がより発展することを目指し制定した「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」が報道された。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

台湾からの観光客を宇治茶でもてなす（15日、宇治市営茶室「対鳳庵」で）

宇治市議会

宇治茶条例　可決

「普及」「おもてなし」推進

修正案否決　原案通りに

宇治市議会

9月定例会が閉会

「宇治茶条例」原案で成立

「17対9」賛成多数で　修正案は否決

宇治市議会9月定例会は15日、最終本会議を開き、山本正市長が提出した一般会計補正予算案（第2号）や「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例制定案」など全12議案を、いずれも原案のまま可決し、閉会した。

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-4
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	平成26年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
上林家の長屋門　面目一新	平成26年10月9日	洛南タイムス

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

景観重要構成要素である家屋「上林住宅長屋門」の漆喰の塗り直しが報道された。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

上林家の長屋門　面目一新

宇治の代表的景観　文化庁の補助で外壁塗り替え

茶どころ宇治の文化的景観を構成する建物の一つに選定される「上林家住宅の長屋門」（宇治妙楽）の外壁塗り替え事業が完了した。

宇治市の歴史まちづくり推進課が事業主体となり、進めていたもので、茶どころ宇治の代表的な茶師の屋敷風情を残す門構えが鮮やかによみがえった。

「宇治の文化的景観」は08年に都市景観では第一号となる「景観の重文」とされる国の重要文化的景観に選ばれた。

宇治の文化的景観は宇治川に代表される自然景観を骨格に、平等院の旧参道に沿った平安時代の街区形成、茶文化に育まれた風土を伝える旧家建物や社寺、製茶場、茶畑などの複合景観からなる。

上林春松家の長屋門（間口約19㍍、高さ7・5㍍）は中村藤吉本店の建物、通円茶屋、丸五薬局、山本家（製茶業）などと共に、文化的景観を構成する重要な建物群の一つに選定されている。

宇治の茶業を代表する茶師として、生産流通に重要な役割を果たした上林家は永禄年間に創業し、桃山時代には豊臣秀吉に重用され、徳川時代には将軍家御用のお茶を取り仕切った。長屋門は元禄11年（1698）の宇治の大火で類焼後に再建された。

門はケヤキを使用し、元は出入口の両脇に部屋があったが、大正3年（1914）の大修理で損傷の激しい東側の長屋を取り壊し。昭和52年（1977）から約1年間の工期で当時のまま修復し、「宇治・上林記念館」の展示場として現在に至っている。

外装塗り替え工事が完了した上林家住宅の長屋門（宇治橋通り）

江戸時代初期の京都観光案内書の貞享2年（1685）刊の「京羽二重」には、同じ長屋門を持つ茶師の屋敷が宇治橋筋だけでも9軒、周辺を加えると16軒に及び、門構えの茶師の邸宅が軒を連ねていた風情が浮かぶ。

老朽化で外装の漆喰壁に亀裂が生じ、広範な剥落破損が懸念されたため、文化庁の補助金（事業費の半額補助）を活用し、8月上旬～10月初旬までの工期で漆喰壁の塗り替えを中心に修理を進めた。

面目一新した外観に14代の上林春松さん（82）は「宇治茶まつりまでに仕上げる段取りで修復しました」と話し、江戸時代の茶師の風格を今に伝える長屋門に目を細めている。

【岡本幸一】